



みくまライフがはじまりました

進級式がおわってクラス替え、あたらしい土地で新しい仲間をみつけた転入の子ども達、あたらしい友達と出会う進級児たち、桜が散ってしまった後にみくま幼稚園へは春のにぎやかさが訪れます。進級した子ども達はおだやかだけど新しい環境にむけての活気に満ちたエネルギーを発します。みくまのあたかな群れにあらたな活気に満ちた春がやってきます。新たな仲間、新たな居場所づくり、新たになることの喜びと、予測がつかないという心配と。私たちはそれらを大切に導きます。

やがて新入児たちがやってくる入園式。幼稚園に行くのは楽しくても、こんなに毎日、ずっと行くものだと考えてなかった新入児たち。なれない新入園児の手をひいて、保育室までつれて行く進級児達も、去年は連れて行ってもらった人たち、あるいは去年は初めて連れてゆく側にたった子ども達です。ただ一年、季節が一巡りをしただけで、こんなにも育った姿を目の当たりにする私たち、3月の学期末の記憶がまだ新しい私たち、ともに過ごしてきた自分たちと子ども達、かけ足で、時には立ち止まりながら、ともに過ごしてきた充実した時間はこんなにも満ちていたのかと、去年の四月の姿をもう思い出せないほどにしてしまった子ども達の姿に、どんなに幼くとも人はしてもらったことをしてかえずことができるということを目の当たりにします。

今年も120人あまりの子ども達がみくま幼稚園本科へ、そして40人の子ども達が子育て支援科のこぐま組へあらたに加わりました。388人のみくまライフのスタートです。子ども達一人一人のお母ちゃん達とのみくまライフがはじまります。私たちといっしょに、私たちとともに、こどもを育てて参りましょう。



西丘小学校の建替え事業がはじまりました

平成27年4月からみくま幼稚園お隣の西丘小学校の建替え事業がはじまります。工期は2年以上を要する大工事、小学生たちは運動場敷地の仮設校舎ですごすなかでの事業です。耐震構造のための工事であれば、それはやらなければならない工事です。地震がおこれば死んでしまうかもしれないとわかっている器に子ども達を通わせることは許されるべきではありません。工事が早く、そして安全におわることを心から願っています。

広い敷地と言えども隣地のことですから、みくま幼稚園もたくさんの子ども達をあずかる以上、教育環境の保証を願い出なければなりません。子ども達の生活の場をまもってゆくのが私たちの勤めです。構想段階から豊中市教育委員会とは話し合いをかさねて、かねてからそのためのご配慮をいただききましたが、このたび、工事の開始をうけていま一度みくま幼稚園園長より要望書を提出いたしました。みくま幼稚園の教育環境にご配慮をいただく事、そして立て替えが終了したときにはお互いの器をこえて、さらに子ども達が育ってゆくこの地域が良いものになりますようにと願いをこめました。そして今こそ大人達が、こうした状況だからこそ子ども達のためにできること、それぞれの立場をこえて、子ども達に願うことのために、勤めを果たしてゆける機会となりますよう、豊中市と協力をして、それぞれの子ども達の育ちを見守って、子育てをしてゆく環境を守ってゆきたいと考えています。